



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	J.FC MIYAZAKI	A	● 1 - 4	平成最後の九州サッカーリーグ開幕にあたり、素晴らしいピッチを用意して頂きました関係者ならびに、会場設営および運営等をしていただいた沖縄県サッカー協会の皆様、海邦銀行と沖縄S Vの皆様に感謝申し上げます。 スポーツカレッジとしては、6年ぶりの九州リーグでした。緊張以上にわくわくと興奮して開幕戦を戦いました。 誰にもバレてはいないと思いますが、開幕戦前半途中に鼻血が出るというアクシデントがありました。
2	日本製鉄大分	H	● 0 - 3	結果は、2連敗という結果でした。選手は初めての九州リーグで戸惑いがあったように感じました。早く九州リーグに慣れて、持ち前の力を出し切って欲しいと思います。 まずは、一勝（勝点3）を取るために頑張ります。どうぞ、今シーズンよろしくお願ひ致します。
3	九州三菱自動車	A	● 1 - 2	2連敗通しの対決で、絶対に勝ち点が欲しかったが取れなかった。 連敗の後で、自信を無くしかけていた部分もあったが、少しずつリーグに慣れてきたように感じた。 次節まで、時間が有るので、良い準備をして自分達のサッカーを貫き通して、チームの成熟度を高めていきたい。 九州三菱自動車の関係者、福岡県サッカー協会の皆さま、運営ありがとうございました。
4	熊本県教員蹴友団	H	● 0 - 2	ホーム開幕戦で、今季初の勝ち点を狙って臨んだ試合だったが、相手の思うつぼにはまり、相手ペースで主導権を握られ先制を許した。 後半巻き返しを計ったが、もう一步のところで点を取ることができず、追加点を許した。 内容は、良くなっているし、少しづつ戦手も慣れてきた。あとは、勝ち点だけ。 沢山の方々の応援ありがとうございました。
5	川副クラブ	A	● 1 - 3	連敗の中、なんとしても欲しかった勝点3だったが、今回も取りきれなかった。 個人としては、それなりに出来るようになったが、チームとしては、まだ時間が掛かりそう。基本技術と運動性が物足りない。 次節はホーム戦なので、強い気持ちを持って臨みたい。 今回、運営して頂いた川副クラブ、佐賀LIXILの皆さんと佐賀県サッカー協会の方々に感謝いたします。
6	NIFS KANOYA FC	H	○ 3 - 1	リーグ開幕5連敗で、自信を失いかけていた中、絶対負けられない試合であった。 前半を先制して折り返すも、コミュニケーションが上手く取れず、自分たちのミスからピンチを招く場面があり、修正を促し後半を迎えた矢先、失点し同点にされる。 しかし、選手は全員で声を出し合い、攻撃のリズムが良くなっていた。結果的に初の勝ち点を取れたことは、選手の自信に繋がったはず。 さらに精度が上がればもっと良くなってくるはず。この勢いを大事にして連勝を目指したい。 今回も、沢山の応援と差し入れを頂き、ありがとうございました。
7	佐賀LIXIL	A	● 2 - 5	前節初の勝ち点を挙げ、勢いに乗りたかったLIXIL戦。今季最悪のゲーム内容になった。 個人では頑張っているものの、組織だったプレーがチームとして出せなかった。お互いのコミュニケーションを取る場面も少なく、自分たちのミスから失点。 前期残り2試合。サッカーが出来る事への感謝、応援にきてくれた方々の気持ちに応えられるプレーを期待したい。 佐賀LIXILの関係者、カレッジOBの皆さん、今日はありがとうございました。
8	沖縄S V	H	● 0 - 4	結果的に共に0-4と大敗しました。失点パターンが、クロスボール対応とゴール前での粘り、スライド等、課題が多く残りました。 その他、ゲーム中のコミュニケーションを増やさないとチームの向上はないと感じています。 前期を最下位で折り返しましたが、後期巻き返しを図る為、課題を修正し後期を迎えることを思っています。 厳しい状況ではありますが、失敗も成功も選手の経験になっています。
9	海邦銀行S C	A	● 0 - 4	最後まであきらめずに、学生らしい元気の良いサッカーを観てもらえるよう頑張りたいと思います。 両日とも、応援、差し入れを頂いた保護者、関係者に厚く御礼申し上げます。 また、大分県社会人組合、別府溝部学園・鶴見高校サッカー部の皆様大会運営ありがとうございました。



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
10	J.FC MIYAZAKI	H	● 0 – 3	<p>前期をリセットして臨んだ試合だったが、試合開始11分、自陣ペナルティエリア内でクリアミスから失点。その後CKから失点。次の得点次第では自分たちが有利になりそうであったが、3点目を取られて終了。試合全体を通して、十分戦えたゲームだったと感じた。大分ダービーで、チームとしても負けられない試合であった。</p> <p>前半から度々チャンスを作るも1得点で前半終了。後半、相手に得点を許すと流れが一気に変わり、1–3で試合終了。</p>
11	日本製鉄大分	A	● 1 – 3	<p>細かいミスが、命取りになる。自陣でのプレー（クリアの質）、ボールを奪う所と体を寄せる所の判断、ワンタッチorツータッチ、足元なのかスペースなのか。</p> <p>小さいミスマッチがチームの流れを左右する経験を選手は、感じているはず。もう一つ、殻を破れれば、、、。</p> <p>沢山の応援と差し入れも頂き、感謝しております。早く「勝利」という形で、喜んで頂けるよう頑張っていきます。</p> <p>佐賀集中開催という事で、佐賀県サッカー協会をはじめ、LIXILさん、川副さんお世話になりました。ありがとうございました。</p>
12	九州三菱自動車	H	● 0 – 1	<p>絶対に負けられない試合だった、、、</p> <p>惜しいところまでは、やれてる。各々あと一步が出せれば、状況は変わる。負けが込むと、雰囲気も良くなくなる、自信もなくなる、逃げたくなる。</p> <p>そんな時こそ、初心を思い出す事、向き合う事。自身が成長できるチャンスに変えて欲しい。やればできることを経験してほしい。</p>
13	熊本県教員蹴友団	A	● 1 – 2	<p>アウェイでのゲームであったが、ゲームの入り自体は、悪くなかった。が、今一步波に乗れず、チャンスも決めきれなかった。</p> <p>チームとしては、少しずつ良くなっているのは確かだが、勝ち切るまでは、もう少し時間が掛かりそう。</p> <p>だがリーグは待ってくれない。段々と違うプレッシャーを背負いながらの試合になってくる。個人がチームが成長してほしい。</p>
14	川副クラブ	H	△ 1 – 1 (PK4-2)	<p>お盆休みを挟んで臨んだ川副戦。これ以上負けが許されない、プレッシャーのかかる試合であった。</p> <p>前半に自分たちのミスから失点してしまい、嫌な流れになったが、その後は自分たちのサッカーが、出来た。</p> <p>同点に追いつき逆転できるチャンスがあったが、詰めの甘さで逆転することができなかつた。</p> <p>可能性を信じて、残り4試合を戦っていきたい。沢山の応援、差し入れありがとうございました。</p>
15	NIFS KANOYA FC	A	● 0 – 9	<p>残り1試合も落とせない試合であったが、最後は集中が切れてしまった。自分たちのミスから失点し、チャンスも決めることが出来なかつた。</p> <p>3試合を残して、九州リーグ降格が決定してしまった。非常に残念だが、残りの試合を次に向けて、大事に戦いたい。</p> <p>鹿児島県サッカー協会、鹿屋体育大学の皆さん、運営ありがとうございました。また、沢山の応援と差し入れを頂き感謝申し上げます。</p>
16	佐賀LIXIL	H	● 1 – 6	<p>前節の大敗から迎えたLIXIL戦であったが、選手から覇気が感じられないゲームだった。</p> <p>自分達のミスから失点。その後も勝ちたい気持ちが見えてこず、追加点を許した。</p> <p>選手達にはもっと、サッカーができる喜び、周りの方々への感謝を持って、試合に臨んでほしい。</p> <p>そして、その気持ちをプレーで表現してほしい。この九州リーグで経験出来るのも、今季はあと2試合。自分自身を見つめ直して、最終戦を迎える。</p> <p>今回も、ホーム最終戦という事で沢山の応援と差入れをありがとうございました。</p>